

Doc.No : NR040224-2

2004年2月24日

好調な受注に対応し、TFT液晶ディスプレイ用製造装置の 生産スペースを大幅に増強

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のFPD機器カンパニー(社長：津田 雅也)は、TFT液晶ディスプレイ用製造装置の生産スペースを約65%拡張し、5月から生産を増強します。

今回の増床は、アジアを中心とした液晶ディスプレイ市場の好景気を受け、同装置の受注が好調であることと、第6世代(1,500×1,800mm)および第7世代(1,870×2,200mm)といったガラス基板の大サイズ化に伴う装置の大型化に対応するものです。

同カンパニーの工場を有する当社・彦根地区事業所内にある遊休スペース約3,200平方メートルを転用し、クリーンルーム設備を新設します。これにより、同装置の生産フロアの延べ床面積はトータルで約8,100平方メートルとなります。

現在同カンパニーでは、2003年12月末の受注残高が2003年3月末と比較して2.4倍に達しており、このたびの増床により、アジアを中心とした液晶パネルメーカーの大型ガラス基板対応装置への設備増強要求に迅速に対応できる高い生産能力を確立します。



「現FPD製造装置工場の生産フロア (FPD機器カンパニー 彦根工場)」

● 本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上ル4丁目